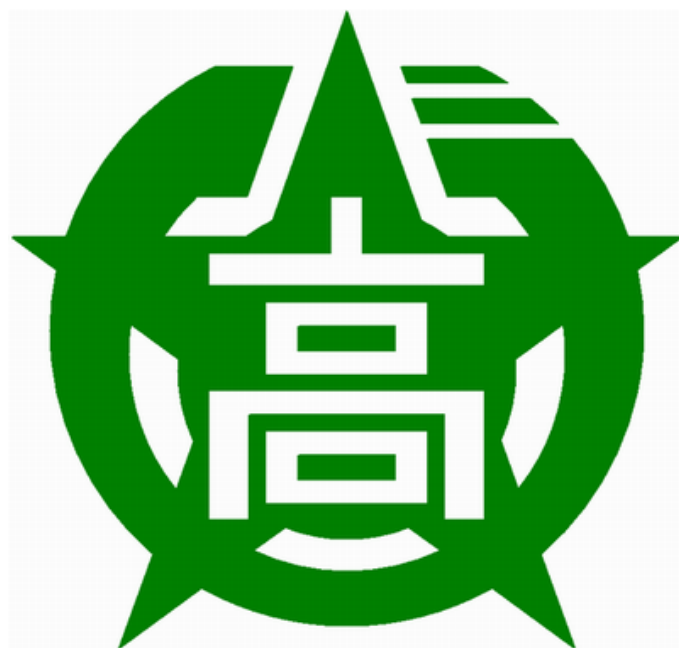


北海道美深高等養護学校

令和8年度 教育課程



本校の教科・領域のねらい（再掲前）

【学校の教育目標】		1年	2年	3年
		社会的に自立できる、心身ともに健全な生徒を育成する。	健康な心と体の基礎の構築 自己認知を深める 目標に対して意欲を持つ	考え、学び、働くことを体得 自己目標のために課題解決
教科・領域	学習指導要領における教科のねらい	本校における教科のねらい		
		1年	2年	3年
総合的な探究の時間 (社会見学 事前事後学習) (見学旅行 事前事後学習) (交流及び共同学習)	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する。		
		社会見学事前学習を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題解決する資質や能力を育成する。美深高校との共同学習を通して、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。	見学旅行事前学習を通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育成する。美深高校との共同学習を通して、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。	美深高校との共同学習を通して、自己を理解し、将来の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
道徳 (道徳) (全教育活動)	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	○青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高める。 ・ 基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てる。 ・ 他者の立場を尊重し、思いやりや協調の精神を育てる。 ・ 学習活動や体験活動を通じて、自分自身の在り方生き方について考え、将来にわたって主体的に生きる態度を育てる。		
		基本的な生活習慣を身に付け、集団の一員として自覚ある行動が取れるようにする。お互いの人格を尊重し、思いやる心を養う。	集団の中で、お互いを認め合い、協力する態度を養う。自立精神を確立し、自ら考え責任ある行動が取れるようにする。	社会の一員としての役割や義務を理解し、公德心を養う。自己実現をし、より良い人生観・価値観を形成し、国家社会の一員としての自覚をもてるようにする。
特別活動 (LHR) (朝の会・帰りの会)	望ましい集団活動を通じて、心身の調和の取れた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。	○ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の三つの内容の目標を総括して以下を狙っていく。 ・ 望ましい集団活動を育成する。 ・ 健康な心と体の発達と個性を育成する。 ・ 社会の一員としてよりよい生活や、豊かな人間関係を育成する。 ・ 自分自身の問題に取り組み、その解決を図るための自主的、実践的な態度を養う。 ・ 自己の判断力や価値観を養い、主体的に物事を選択決定し、責任ある行動ができる自覚を深め、集団や社会の中で自己を活かす能力を養う。		
		【ホームルーム活動】 望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的、健全な態度を育てる。 【生徒会活動】 望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 【学校行事】 望ましい人間関係を形成し、集団や所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。		
自立活動 (体づくり) (作業学習) (LHR) (朝の会・帰りの会) (全教育活動)	個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。	個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。		
		健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション		

<p>工業</p>	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>	<p>【工業科】 セメント加工及び金属加工を題材とし、基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、実習などの体験を通じて実践し、製品の販売などで地域へ貢献する姿勢を身に付ける。勤労の意義と役割の理解を深めるとともに、社会的に自立する上で必要な能力を高めようとする態度を育てる。</p> <p>【木工科】 木材等を主原料とする製品の製造などの学習を通じて、基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指し、勤労の意義と役割の理解を深めるとともに、職業生活に必要な能力や主体的に他者や自分の課題と向き合う態度を育てる。</p> <p>【窯業科】 作陶の特色を生かした体験的な学習をとおして、基礎的・基本的な知識と技術の習得を図るとともに、勤労の意義と役割の理解を深め、社会で生活する上で必要な能力の向上と実践的な態度を育てる。</p>											
<p>家政</p>	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>	<p>【被服デザイン科】 主として縫製実習に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、就労の意義と役割、社会貢献の理解を深めるとともに、社会生活で自立するために必要な基礎的・基本的な能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>【食品デザイン科】 製菓作業や衛生管理、併せて製品販売までの関連作業をとおして勤労の体験を豊かにし、その意義と役割の理解を深めるとともに、社会に貢献し、自立した生活を営むうえで必要な能力と実践的な態度を育てる。</p>											
<p>農業</p>	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>	<p>【農業科】 農業の実習を通して、基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、農作業における課題を発見し、解決する力を養うとともに、基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、職業生活に必要な能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>①基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る。 ②農作業における課題を発見し、解決する力を養う。 ③職業生活に必要な能力と実践的な態度を育てる。</p>											
<p>国語</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <table border="1" data-bbox="611 996 1441 1861"> <tr> <td data-bbox="611 996 882 1193"> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p> </td> <td data-bbox="888 996 1160 1193"> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p> </td> <td data-bbox="1166 996 1441 1193"> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1202 882 1704"> <p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話の要点を落とさないように聞き、話の内容を捉えることができる。 場や目的に応じて要点を落とさないように話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、順序立てて書くことができる。 C 読むこと 時間的な順序や事柄を考えながら読み、内容をつかむことができる。</p> </td> <td data-bbox="888 1202 1160 1704"> <p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の目的や気持ちを考えながら、話の内容を捉えることができる。 目的や意図に応じて理由や事例を取り上げ、順序立てて話すことができる。 B 書くこと 目的や意図に応じて必要な事柄を集めて整理したり、比較したりして書くことができる。 C 読むこと 目的に応じて読み、要約したり、考えを持ったりすることができる。</p> </td> <td data-bbox="1166 1202 1441 1704"> <p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の立場や意図を自分の考えと比べながら聞いたり、考えを広げたりすることができる。 自分の立場や意図を明確にさせながら、相手や目的に応じて適切に話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、目的や意図に応じて事実や感想、意見などの考えが伝わるように書くことができる。 C 読むこと 目的や意図に応じて読み、自分の考えをまとめたり、必要な情報を読み取ったりすることができる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1713 882 1861"> <p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p> </td> <td data-bbox="888 1713 1160 1861"> <p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p> </td> <td data-bbox="1166 1713 1441 1861"> <p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p> </td> </tr> </table>			<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p>	<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p>	<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになる。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話の要点を落とさないように聞き、話の内容を捉えることができる。 場や目的に応じて要点を落とさないように話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、順序立てて書くことができる。 C 読むこと 時間的な順序や事柄を考えながら読み、内容をつかむことができる。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の目的や気持ちを考えながら、話の内容を捉えることができる。 目的や意図に応じて理由や事例を取り上げ、順序立てて話すことができる。 B 書くこと 目的や意図に応じて必要な事柄を集めて整理したり、比較したりして書くことができる。 C 読むこと 目的に応じて読み、要約したり、考えを持ったりすることができる。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の立場や意図を自分の考えと比べながら聞いたり、考えを広げたりすることができる。 自分の立場や意図を明確にさせながら、相手や目的に応じて適切に話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、目的や意図に応じて事実や感想、意見などの考えが伝わるように書くことができる。 C 読むこと 目的や意図に応じて読み、自分の考えをまとめたり、必要な情報を読み取ったりすることができる。</p>	<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>
<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p>	<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。</p>	<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に親しみ、理解することや、社会生活において伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになる。</p>											
<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話の要点を落とさないように聞き、話の内容を捉えることができる。 場や目的に応じて要点を落とさないように話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、順序立てて書くことができる。 C 読むこと 時間的な順序や事柄を考えながら読み、内容をつかむことができる。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の目的や気持ちを考えながら、話の内容を捉えることができる。 目的や意図に応じて理由や事例を取り上げ、順序立てて話すことができる。 B 書くこと 目的や意図に応じて必要な事柄を集めて整理したり、比較したりして書くことができる。 C 読むこと 目的に応じて読み、要約したり、考えを持ったりすることができる。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと 話し手の立場や意図を自分の考えと比べながら聞いたり、考えを広げたりすることができる。 自分の立場や意図を明確にさせながら、相手や目的に応じて適切に話すことができる。 B 書くこと 書くことの内容を明確にし、目的や意図に応じて事実や感想、意見などの考えが伝わるように書くことができる。 C 読むこと 目的や意図に応じて読み、自分の考えをまとめたり、必要な情報を読み取ったりすることができる。</p>											
<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>【学びに向かう力 人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>											
<p>数学</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	<p>生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。</p> <table border="1" data-bbox="611 1937 1441 2063"> <tr> <td data-bbox="611 1937 882 2063"> <p>【数と計算】 四則の関係などを理解し計算する技能を身に付ける。</p> </td> <td data-bbox="888 1937 1160 2063"> <p>【数と計算】 十進位取り記数法によって 10 倍、100 倍、1/10、1/100 を表すことができることを知る。</p> </td> <td data-bbox="1166 1937 1441 2063"> <p>【数と計算】 分数、小数の仕組みを知り、異分母同士の乗除法や小数同士の四則計算をする。</p> </td> </tr> </table>			<p>【数と計算】 四則の関係などを理解し計算する技能を身に付ける。</p>	<p>【数と計算】 十進位取り記数法によって 10 倍、100 倍、1/10、1/100 を表すことができることを知る。</p>	<p>【数と計算】 分数、小数の仕組みを知り、異分母同士の乗除法や小数同士の四則計算をする。</p>						
<p>【数と計算】 四則の関係などを理解し計算する技能を身に付ける。</p>	<p>【数と計算】 十進位取り記数法によって 10 倍、100 倍、1/10、1/100 を表すことができることを知る。</p>	<p>【数と計算】 分数、小数の仕組みを知り、異分母同士の乗除法や小数同士の四則計算をする。</p>											

		【図形】 図形の構成要素を知り、三角形、四角形を見分ける。	【図形】 三角形や四角形の面積を求めると。	【図形】 立方体の体積を求める、展開図や縮図について知る。
		【変化と関係】 伴って変わる二つの数量に気付き、その変化や特徴を考察する。	【変化と関係】 比例、反比例の関係について知り、表やグラフに表す。	【変化と関係】 比例、反比例の関係を表やグラフ、式で表し、特徴を読み取る。
		【データの活用】 度数分布表から特徴を読み取ったり、データを収集したりする。	【データの活用】 データからグラフを作成する。	【データの活用】 グラフの特徴を読み取った結論について多面的に捉え、考察する。

社会	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的な事象について関心を持ち、具体的に考察する活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。	社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。		
		【社会参加ときまり】 集団生活の中での役割やきまり 日本国憲法の働きや仕組み	【社会参加ときまり】 学校や地域社会の中での役割	【社会参加ときまり】 税金の目的や種類 納税の義務と方法 生活に関する法や制度
		【公共施設の役割と制度】 身近な地域の公共施設の働きと利用の仕方	【公共施設の役割と制度】 公共施設や公共物の果たす役割 日本政治の基本的な仕組み 選挙の目的や意義	【公共施設の役割と制度】 役場や病院等の利用の仕方 や手続きの手順 障害基礎年金制度の仕組み や手続きの仕方 国における選挙制度や参加の必要性 模擬選挙
		【我が国の国土の自然環境と国民生活】 身近な地域の起こり得る自然災害 災害が起こったときの避難経路や避難方法	【我が国の国土の自然環境と国民生活】 日本で起こり得る自然災害 自然災害に備え自分たちが できること	【我が国の国土の自然環境と国民生活】
		【産業と生活】 自然条件を生かした日本の農作物の生産 流通の仕組み	【産業と生活】 日本の食生活の変化と食料自給率 経済活動と地域生活との 関連	【産業と生活】 情報の種類や活用の仕方
		【我が国の国土の様子と国民生活、歴史】 身近な地域の地理と特徴	【我が国の国土の様子と国民生活、歴史】 日本の地理と特徴	【我が国の国土の様子と国民生活、歴史】 北海道の歴史
		【外国の様子】 アジア諸国の文化や習慣	【外国の様子】 アメリカの文化や習慣	【外国の様子】 ヨーロッパ諸国の文化や習慣 アフリカ諸国の文化や習慣

理科	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指す。	自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。		
		【生命】 生命の連続性についての理解を図り、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	【生命】 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについての理解を図り、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	
		【地球・自然】 流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	【地球・自然】 土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽の位置関係についての理解を図り、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	
		【物質・エネルギー】	【物質・エネルギー】	

	物の溶け方、電流の働きについて理解を図り、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	・燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び性質や働きについての理解を図り、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。
--	---	---

外国語 (英語)	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを旨とする。	外国語に親しみ、外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や多様な文化への関心を深める。		
		【聞く】 アルファベットや簡単な単語の発音を聞いて、文字や意味を理解することができる。	【聞く】 身近な事物に関する簡単な英語を聞いて、内容をおおよそ理解することができる。	【聞く】 簡単な英語による指示や説明を聞いて、理解することができる。
		【話す】【発表】【やり取り】 自分の名前や年齢、好みなどを簡単な語や基本的な表現で伝え合うことができる。	【話す】【発表】【やり取り】 身近な事物の様子や状態を簡単な語や基本的な表現で伝え合うことができる。	【話す】【発表】【やり取り】 好みや欲求などの自分の考えや気持ちを基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
		【書く】 アルファベットや、身の回りの物を表す語を書くことができる。	【書く】 身近で具体的な事物を表す簡単な語句や文を書くことができる。	【書く】 自分のことや出来事、相手へ聞きたいことなどを簡単な文で表すことができる。
		【読む】 身の回りで使われている文字や語句を見つけて読むことができる。	【読む】 身近な事物の様子や状態を表す簡単な語句や文を読むことができる。	【読む】 日常生活に関する身近で簡単な内容の掲示やパンフレットから必要な情報を読み取ることができる。

家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成することを旨とする。	明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。		
		【家庭の役割】 自分や家族がそれぞれの役割を持っていることに気づき、家庭生活に関心を持つ。	【家庭の役割】 家族の一員として、自分の役割を積極的に果たす態度を身に付ける。	【家庭の役割】 卒業後の家庭生活について考え、必要な力を身に付ける。
		【消費と余暇】 自分の身の回りの物について予算の中で計画を立てる。 生活を楽しむための余暇の種類を知る。	【消費と余暇】 カードの種類や利用の仕方、必要に応じた金銭の使い方が分かる。 余暇の有効な過ごし方について理解を深める。	【消費と余暇】 レシートや領収書を読み取り、家計簿を記入する。家計の収入・支出状況を把握する。 家庭での余暇時間を考える。
		【道具・器具等の取扱いや安全・衛生】 家庭生活で使用する道具や器具の使い方が分かる。 身の回りを清潔にして過ごす。	【道具・器具等の取扱いや安全・衛生】 家庭生活で使用する道具や器具の保管、手入れ、故障時の対応が分かる。 食品衛生、居室内の衛生について分かる。	【道具・器具等の取扱いや安全・衛生】 家庭生活で使用する道具や器具を安全かつ効率的に使用する。 居室内や食品を衛生的に保つ方法を実践する。
		【家庭生活に関する事項】 日常生活における被服、食物、住居などに関する知識と技能を習得する。	【家庭生活に関する事項】 日常生活における被服、食物、住居などに関する簡単な事項を一人で実践する。	【家庭生活に関する事項】 家庭生活に必要な衣類の洗濯や保管、修繕調理や食品の保存、住居の清掃や修理を行う。
		【保育・家庭看護】 乳幼児の発達、療養中の家族の生活に必要な配慮事項が分かる。		

音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中野音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を	表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。		
		いろいろな音楽の美しさや楽しさを感じ取りながら歌った	様々な音楽表現(演奏・歌唱)に慣れ、歌詞の内容や	歌詞の内容や曲想などを味わいながら表現したり鑑賞し

	育成することを目指す。	り演奏したり鑑賞したりする。	曲想などを感じ、表現したり鑑賞したりする。	たりする。	
美術	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	造形活動によって、表現および鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。			
		様々な技法や素材に触れながら、創造活動に親しむ。表現の違いに気付く。	様々な技法や素材に触れ、創意工夫しながら経験の幅を広げる。表現の違いに気付き、その良さや美しさを感じることができる。	これまでの経験を基に、創意工夫しながら表現することができる。表現の違いやその良さに気付き、認め合うことができる。	
保健体育 (体育) (保健)	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた主体的・協動的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。	適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。 心身の発育・発達に関心をもち、性に関する正しい知識を身に付け、実践しようとする心を育てる。			
		各種の運動の特性に応じた技能並びに社会生活における健康・安全について理解する。心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防について理解する。	各種の運動や健康・安全についての課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断する力を身に付ける。健康で安全な生活を営むための目的に応じた技能を身に付ける。	継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、卒業後も豊かで活力ある生活を営む態度を養う。健康・安全に関わる自他の課題解決に向けて、仲間と考えたことを伝える力を身に付ける。	
職業	職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成することを目指す。	勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。			
		【職業生活】 勤労の意義や職業に関わる知識について学び、課題を解決しながら働こうとする意欲を育むことができる。	【職業生活】 将来の職業生活を見据え、勤労の社会的な意義を理解することができる。		
		【産業現場等における実習】 働く力を身に付けることの意味を理解し、働くことへの意味を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	【産業現場等における実習】 職業生活に必要な知識や態度を身に付けるとともに、職業における自己の能力や適性について理解を図り、働く意欲を一層高め、卒業後の進路を考えることができる。		
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。	コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。			
		情報の取扱いに関する決まりやマナーがあることを知る。	情報の取扱いに関する決まりやマナーを理解し、それらを守って実践しようとする。	情報の取扱いに関する決まりやマナーを理解し、それらを守って実践しようとする。	

美深高等養護学校の教育

本校は、「社会的に自立できる、心身ともに健全な生徒を育成する」という教育目標を達成するために、学びの3要素（①知識・技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等）に加え、④主体的行動力、⑤社会力、⑥人間力、⑦課題発見・解決力、⑧健康・体力を身につけてほしい資質・能力として各教科・領域等を位置付けています。

【学校教育目標】

社会的に自立できる、心身ともに健全な生徒を育成する。

【身につけてほしい資質・能力】

～生徒の目標・合言葉は、「カッコいい大人になる！」～

令和8年度の重点教育目標及び経営目標

自ら考え、行動し、学び続ける生徒を育てる
～生徒・教職員・地域にとってのウェルビーイングな学校作り～

学びの三要素 ①知識・技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等

④主体的行動力	⑤社会力	⑥人間力	⑦課題発見・解決力	⑧健康・体力
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考えて行動する力 ・チャレンジ精神 ・計画・実行力 ・自己肯定感 ・自己選択・自己決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と関わる力 ・働く力 ・社会貢献力 ・将来設計力 (進路希望の実現) ・自分を律する力 ・情報活用能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・人とつながる力 ・自他の大切さを認め合う力 ・自己理解・他者理解 ・協働性 ・寛容さ、広い視野 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と向き合う力 ・他者と向き合う力 ・自己の課題と向き合う力 ・学校や地域の課題と向き合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的に暮らすための生活習慣や体力 ・粘り強さや遅しさ ・ストレスマネジメント



働く力

作業学習
(自学科実習、現場実習など)

体力づくり

道徳

HR 活動

学校行事

生徒会活動

総合的な探究の時間

自立活動

生活する力

5 教科
(国語、社会、数学、理科、英語)

家庭

職業

情報

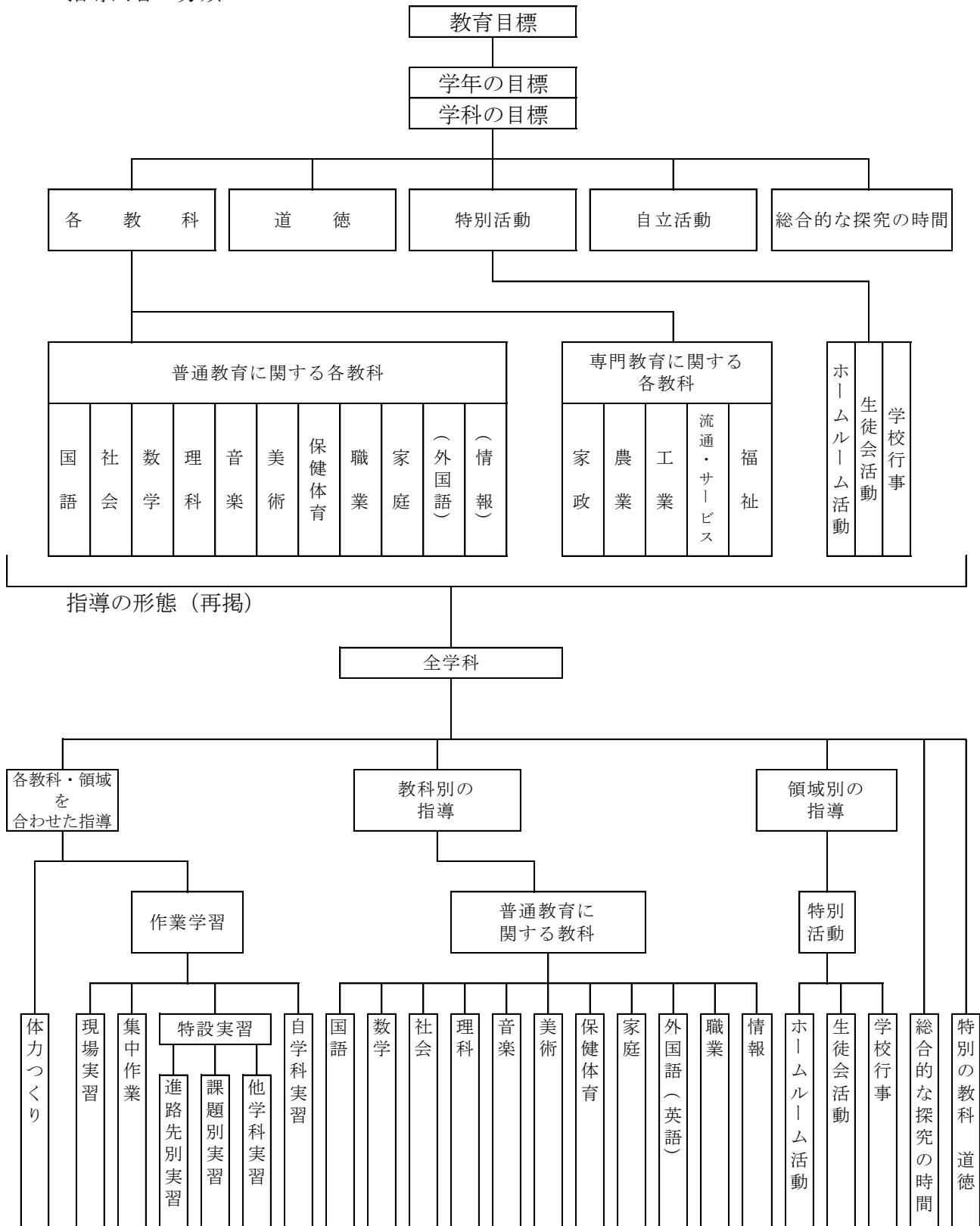
心を豊かにする力

保健体育

音楽 美術

■令和8年度 教育課程基本構造

指導内容の分類



※ 自立活動は各指導形態に含めて履修する。

■令和8年度 教育課程配列表

【全学科】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年	自学科実習									他学科 実習	国語	数学	社会	理科	英語	保健/ 職業	美術	家庭	音楽	情報	体育	体力 づくり	道徳	L H R	朝の会 帰りの会					
2 学年	自学科実習									課題別 実習	国語	数学	社会	理科	英語	保健/ 職業	美術	家庭	音楽	情報	体育	体力 づくり	道徳	L H R	朝の会 帰りの会					
3 学年	自学科実習 (進路先別実習)										国語	数学	社会	理科	英語	保健/ 職業	美術	家庭	音楽	情報	体育	体力 づくり	道徳	L H R	朝の会 帰りの会					

■令和8年度 日課表

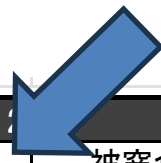
	時刻	時間	校時	日課
月 火 水 木	8:15~8:25	10分		登校
	8:25~8:35	10分		朝の会
	8:35~8:40	5分		休憩
	8:40~9:30	50分	1	授業
	9:30~9:40	10分		休憩
	9:40~10:30	50分	2	授業
	10:30~10:40	10分		休憩
	10:40~11:30	50分	3	授業
	11:30~11:40	10分		休憩
	11:40~12:30	50分	4	授業
	12:30~13:15	45分		給食・昼休み
	13:15~14:05	50分	5	授業
	14:05~14:10	5分		休憩
	14:10~15:00	50分	6	授業
	15:00~15:20	20分		帰りの会
			(清掃時間を含む)	

	時刻	時間	校時	日課
金	8:15~8:25	10分		登校
	8:25~8:35	10分		朝の会
	8:35~8:40	5分		休憩
	8:40~9:30	50分	1	授業
	9:30~9:40	10分		休憩
	9:40~10:30	50分	2	授業
	10:30~10:40	10分		休憩
	10:40~11:30	50分	3	授業
	11:30~11:40	10分		休憩
	11:40~12:25	45分		給食・昼休み
	12:25~12:45	20分		帰りの会
				(清掃時間を含む)

※金は会議日

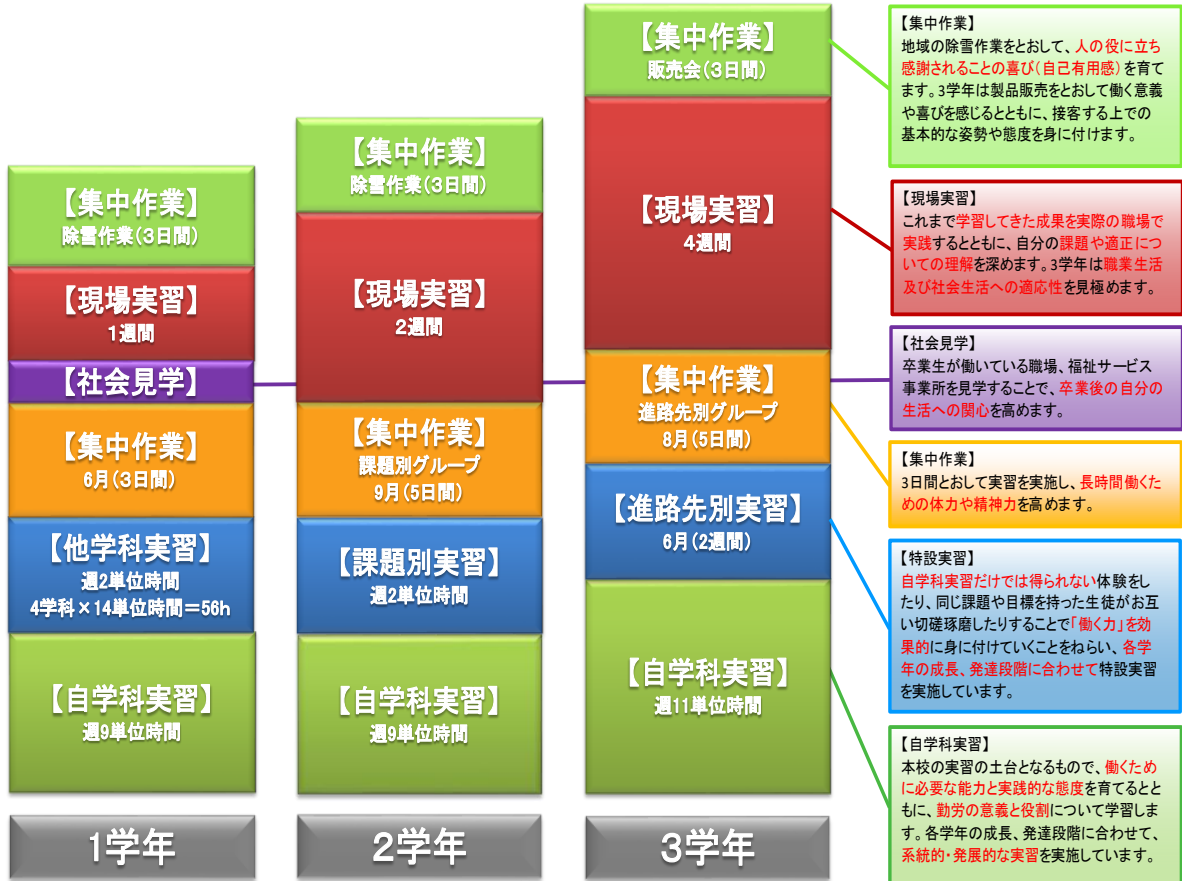
※朝の会・帰りの会(特別活動)3単位時間
30分×5日=150分 150分÷50分=3単位時間

■令和8年度 時間割



		1年		3年	
		木被農窯食	木工農	被窯食	木工被農食
月	1	社会	理科		数学
	2	自学科実習	音楽	家庭	自学科実習
	3		体育	美術	
	4			保健/職業	
	5	英語	美術	体育	家庭
	6	道徳	保健/職業		社会
火	1	体力づくり	体力づくり		体力づくり
	2	家庭	国語		自学科実習
	3	美術	自学科実習		
	4	保健/職業			
	5	国語	自学科実習		自学科実習
	6	音楽			
水	1	数学	社会		国語
	2	自学科実習	自学科実習		情報
	3				体育
	4				理科
	5	体育	自学科実習		道徳
	6				
木	1	体力づくり	体力づくり		体力づくり
	2	自学科実習	家庭	音楽	自学科実習
	3		情報		
	4		英語		
	5	情報	数学		英語
	6	理科	道徳		音楽
金	1	他学科実習	課題別実習		美術
	2				保健/職業
	3	LHR	LHR		LHR

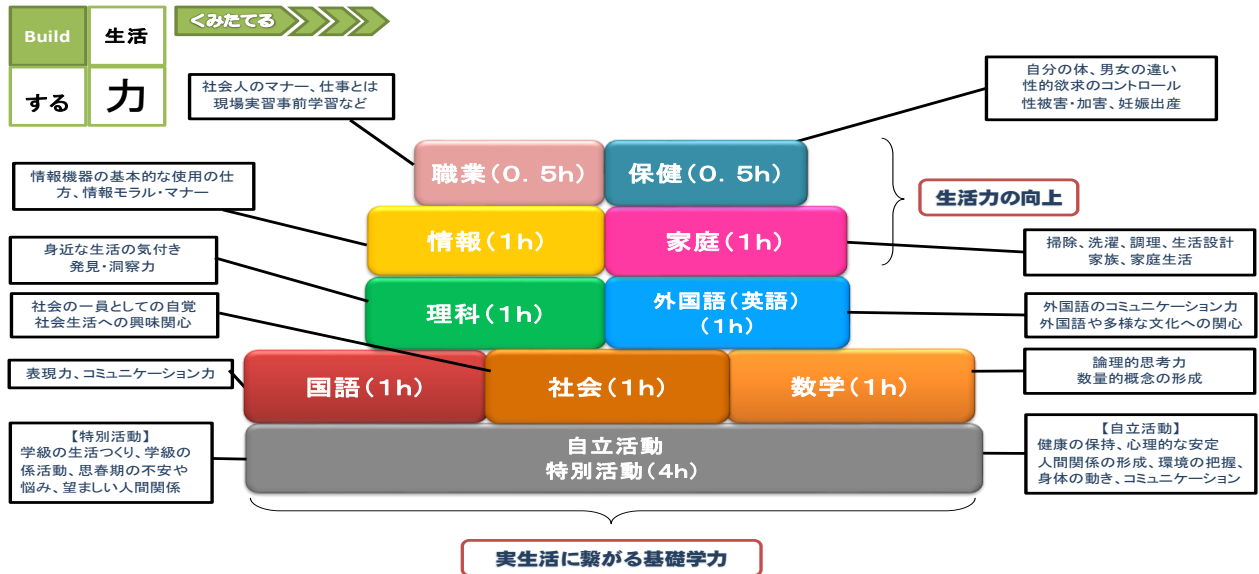
■働く力ポスター



■働く力一覧表

	働く力の学習	目標	キーワード	内容	期間	時期	再掲
基礎基本	自学科実習	1年：職業生活に必要な基礎基本的な能力や態度の育成。 2年：職業生活に必要な能力の定着と発展。 3年：職業生活に必要な実践的な能力や態度の育成。	挨拶、返事、働く基礎、働く心得、意欲、作法、仲間との協力、報告・連絡・相談、手早さ、正確さ、基礎基本、働く心構え。一言で・・・働くことの土台（ベース）。	所属学科の実習を行う。	1年：週 9単位時間 2年：週 9単位時間 3年：週 11単位時間	1学年～3学年	作業学習
	他学科実習（1学年）	・各学科の実習を体験的に取り組むことをとおして、様々な作業種を知るとともに関心を高める。 ・自分の作業能力を知り、仕事の適性を探るきっかけとする。	自己理解、適性を見極める、体験・経験拡大、働くことの基礎基本、コミュニケーション、自学科の成果の実践。一言で・・・経験の拡大・自己理解＋自学科の成果の実践。	所属学科以外の学科の実習を行う。	1期：4月～6月 2期：8月～10月 3期：10月～12月 4期：1月～3月	1学年4期（1期14単位時間）	作業学習
より効果的に	1年集中作業（終日作業）	・長時間働くための体力や精神力を高める。 ・普段の実習に対する心構えや態度の変容及び改善。 ・初の終日作業を経験することで自己の課題を認識し、改善を図る。 ・現場実習に対する意欲の向上を図る。	長時間働く力、現場実習への心構え、働くことへの理解、自己理解、自学科・他学科の成果（テスト）。一言で・・・長い時間働く力。	3日間おとして自学科実習を行う。	3日間（火～木）	1学年6月第3週	作業学習
	1年社会見学	・卒業生が働いている企業、福祉サービス事業所を見学することで、卒業後の自分の生活に関心をもつ。 ・公共の施設を利用するときのマナーを知る。	卒業後の生活を知る、働く上で大切なことを知る、一般就労と福祉就労の違いを知る、具体的な進路先を知る、挨拶・返事・5分前行動の実践、自己理解（どのような仕事に向いているか）。	卒業生が働いている企業や福祉サービス事業所、生活の場の見学を行う。	1日間	1学年7月初旬	学校行事
	課題別実習（2学年）	・同じ課題や目標をもった集団で実習に取り組むことで自分の目標を理解し、目標達成に向けて主体的に取り組むことができる。	実態や課題に合った学習、自己有用感、自己の目標に向かって取り組む、現場実習に向けての意識を高める、自ら考え行動する。 ★グループングする理由は・・・切磋琢磨、自学科で追えない課題のある生徒がいる、ターゲットを絞った指導ができる。	生徒の実態や課題に合わせてグループングし、実習を行う。	週2単位時間	2学年通年	作業学習
	2年集中作業（課題別作業）	・長時間働くための体力や精神力を高める。 ・普段の実習に対する心構えや態度の変容及び改善。 ・同じ実態、課題の生徒同士で取り組むことで新たな自己の課題を認識し、改善を図る。 ・現場実習に向けて必要な意欲態度、姿勢を獲得することができる。	現場実習の事前学習。 普段の教育活動、指導内容の確認の場。 仕事や職場に適應できる能力を深めたり、高めたりすること。 働く事の意義を理解し、身に付けること。 職業倫理や経済観念を学習し、覚えること。 卒業後の進路及び現場実習に向けて意識を高めること。	5日間おとして課題別実習を行う。	5日間（月～金）	2学年9月第1週	作業学習
	進路先別実習（3学年）	・進路先及び職種に応じた実習に取り組むことで、卒業後の具体的なイメージをもつことができる。	実習先の形態に応じた卒業後のイメージ作り、前提実習にスムーズに行く準備、課題の整理、前提前の仕上げ、気持ちを整える、まとめ、模擬体験。	卒業後の進路先に合わせて校内又は校外で実習を行う。	2週間	3学年6月第4週～7月第1週	作業学習
	3年集中作業（進路先別）	・長時間働くための体力や精神力を高める。 ・普段の実習に対する心構えや態度の変容及び改善。 ・具体的な進路先を考慮した上で、自己の課題を認識し改善を図る。 ・現場実習の事前学習として現場実習及び社会自立に対する意欲の向上を図る。	現場実習の事前学習。 普段の教育活動、指導内容の確認の場。 仕事や職場に適應できる能力を深めたり、高めたりすること。 働く事の意義を理解し、身に付けること。 職業倫理や経済観念を学習し、覚えること。 卒業後の進路及び現場実習に向けて意識を高めること。	3日間おとして進路先別のグループで実習する。	3日間	3学年8月第5週	作業学習
働く意義・喜び	1,2年集中作業（除雪）	・長時間働くための体力や精神力を高める。 ・普段の実習に対する心構えや態度の変容及び改善。 ・地域の除雪作業をとおして、人の役に立ち、感謝されることの喜び（自己有用感）を育てる。 ・1年間で培われた力の定着を図る。	自己有用感、町民（人）の役に立つ、長時間働く、体力・気力、実習のまとめ、社会貢献一言で・・・感謝されて喜びに変える（自己有用感）分りやすい（生徒にとって見通しがもちやすい）、成果がはっきり分かる、直接感謝される。	美深町内の除雪作業を行う。	3日間（火～木）	1年：2月第3週 2年：1月第3週	作業学習
	3年集中作業（販売会）	・長時間働くための体力や精神力を高める。 ・普段の実習に対する心構えや態度の変容及び改善。 ・製品の販売をとおして、働く意義や喜びを感じることができる。 ・接客する上での基本的な態度、姿勢を身に付ける。 ・3年間の自学科実習のまとめとして、今まで培われた力を確認する。	自学科実習のまとめ。 普段の教育活動、指導内容の確認の場。 仕事や職場に適應できる能力を深めたり、高めたりすること。 働く事の意義を理解し、身に付けること。 職業倫理や経済観念を学習し、覚えること。 卒業後の進路及び現場実習に向けて意識を高めること。	学科ごとに製作した製品を校外で販売する。	3日間	3学年2月第3週	作業学習
実社会でのチャレンジ	現場実習	1年：実際の職場で働く体験をすることで、自己の課題を発見する。 2年：自分の適性を理解し、これまで学習してきた成果を実際の職場で実践する。	1年生 働く体験、自己の課題発見。 2年生 適性の理解、卒業後の進路を具体的に、学習成果の実践、目標に向かって挑戦する。	それぞれの課題や実態に合わせて、実際の職場で働く体験をする。	1年：1週間 2年：2週間	1年：9月第1週 2年：9月第5週～10月第2週	作業学習
	前提現場実習	3年：自己の進路実現のために現実的な条件の下で職業生活及び社会生活への適性を見極める。	就職試験 3年生 進路実現、前提実習、就職試験、自己実現、3年間のまとめ、今後の生活・仕事を実践。	卒業後の進路先の前提となる企業又は福祉サービス事業所で実習を行う。	4週間	3学年9月第1週～9月第4週	作業学習

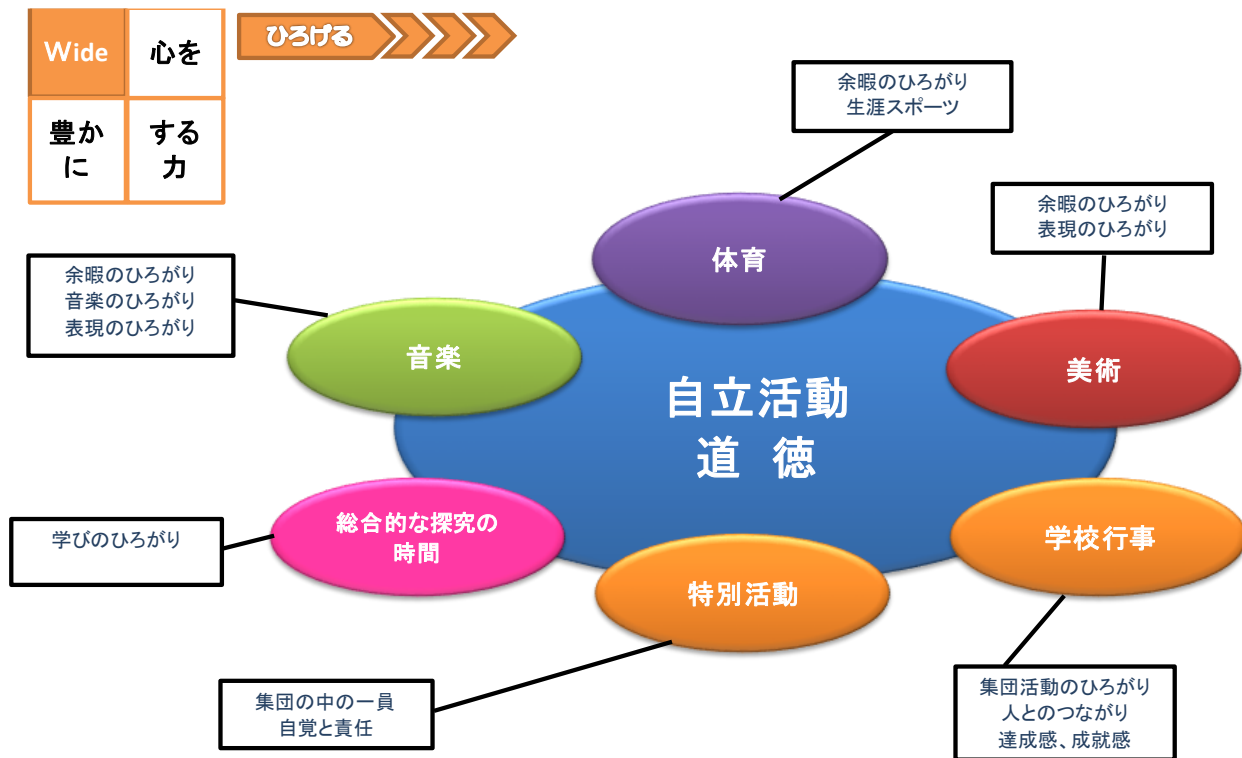
■生活する力ポスター



■生活する力一覧表

	生活する力の学習	目標	キーワード	学習集団	時数
基礎基本生活力の向上	国語	生活に必要な国語についての理解を深め、それらを適切に活用できる能力と態度を育てる。	話す、書く、聞く、読む	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	数学	生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。	数と計算、図形、量と測定、実務	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	社会	社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。	社会の一員、生活に関わる制度、政治、経済、文化などの社会的事象 生産消費などの経済活動、我が国の地域・自然・生活の様子、社会の変化、外国の自然、人々の生活の様子	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	理科	自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切に育てる。	人の身体の主なつくりや働き、生物の特徴、その成長や活動の様子 物質の性質、機会・器具の構造及び働き、自然の事物・現象	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	英語	外国語に親しみ、外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や多様な文化への関心を深める。	聞く、話す〔発表〕〔やり取り〕、書く、読む、異文化への関心	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	家庭	明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。	家庭の役割、消費と余暇、道具・器具等の取扱いや安全・衛生、家庭生活に関する事項・保育・家庭看護	習熟度別4～6グループ	週1単位時間
	職業	勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。	働く意義、いろいろな仕事、働く上での心構え、卒業後の生活福祉制度、生活費、余暇生活するためのルール	習熟度別4～6グループ	週0.5単位時間
	保健	心身の発育・発達に関心をもち、性に関する正しい知識を身に付け、実践しようとする心を育てる。	健康管理、清潔、病気、薬、身だしなみ、食生活と栄養、第二次性徴、性的欲求のコントロール、生命誕生のメカニズム、性被害、性加害、性情報、性感染症の予防、避妊	習熟度別4～6グループ	週0.5単位時間
情報	コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。	情報社会での責任、情報社会のルールやマナー、契約と責任、インターネットの正しい利用、情報社会の倫理、法の理解と遵守	各学級実態に応じて	週1単位時間	

■心を豊かにする力ポスター



■心を豊かにする力一覧表

心を豊かにする力の学習		目標	キーワード	学習集団	時数	
豊かな心	道徳	道徳	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値を理解し、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方を深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養う。	自分自身に関すること 人との関わりに関すること 集団や社会との関わりに関すること 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	各学級実態に応じて	週1単位時間
	音楽	音楽	表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。	合唱、独唱 打楽器や旋律楽器などの演奏、合奏 鑑賞 表現	2～3学科合同	週1単位時間
	美術	美術	造形活動によって、表現および鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。	絵画、彫刻、版画、陶芸、染織、写真、イラストレーション、デザイン、鑑賞	2～3学科合同	週1単位時間
	体育	保健体育	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための脂質・能力を育成する。	集団行動、体づくり運動、陸上協議、器械運動、水泳、球技、武道、ダンス、スキー、体育理論	2～3学科合同	週2単位時間
	社会見学 見学旅行 交流及び 共同学習	総合的な 探究の時間	横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断しよりよく問題を解決する資質や能力を育成する。	自主研修計画、お小遣い計画、見学先調べ、しおり作り、マナー、報告会、	学年ごと	適切に定める 25～30単位程度
生活力の向上	朝の会 帰りの会 LHR	特別活動	望ましい集団活動をとおして、より良い人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	朝の会、帰りの会、健康チェック、係活動、目標の設定、反省、挨拶、言葉遣い、時間を守ること、決まりを守ること	各学級実態に応じて	週3単位時間
	自立活動		障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。	健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション		全教育活動を通じて (体力づくり：週3単位時間)

■学校行事一覧表

種別	行事	目的	内容	期間	時期	再掲前
儀式的	第1学期始業式 着任式	・新しい学期への歩みだしの動機付けを行い、意欲を喚起するとともに学習や生活への心構えをもつ。 ・先輩としての自覚と責任を高める。	校長講話 校歌 着任者挨拶	1h	4月	学校行事
儀式的	入学式	・高校生としての自覚と、新しい集団の一員としての意識を育てる。 ・先輩としての自覚と責任をもち、行動する。	式辞・祝辞、入学許可 歓迎の言葉、誓いの言葉、合唱	1h	4月	学校行事
生徒会	対面式	・新入生と在校生の親睦を深める。 ・部活動を知り積極的に参加しようとする気持ちをもつ。 ・生徒会活動の様子を知る。	部活動紹介 1年生自己紹介 交流ゲーム	2h	4月	生徒会 行事
健康・ 安全	生活安全教室	【1回目】いじめについて ・いじめについて知る。 ・いじめ防止基本方針について知る。 【2回目】契約と防犯について ・18歳が成人年齢になったことを知る。 ・契約を結ぶ際の注意点、勧誘や悪徳商法から身を守る手段を知る。	外部機関（名寄警察署）から講師を招いた講話 いじめ防止、安全啓発 ポスターの作成	2h 2h	5月 12月	学校行事
健康・ 安全	避難訓練	・現実の火災を想定し、火災が発生した時何をすべきかを知る。 ・口をハンカチなどで押さえて、腰を低くして避難することを知る。 ・日常生活習慣に連動させ、人の話や放送を聞く態度を養う。	火事：1h+1h 地震：1h	計3h	5月下旬 10月中旬 2月上旬	学校行事
生徒会	生徒総会	・生徒会の会員であるという自覚を高める。 ・生徒会の活動を知り、興味・関心をもつ。 ・生徒一人一人が生徒会行事に参加することで、協力してやり遂げる態度を養う。	昨年度反省 委員会活動方針 議案書の質疑応答	1h	5月下旬	生徒会 行事
体育的	美高養駅伝	・日常の体力作りの成果を試す。 ・生徒間の交流を深め、身体的発達促進、社会適応力の向上を目指す。 ・集団における連帯感及び、団結力を身につける。 ・健康、安全に留意する態度を養う。	開会式 駅伝（1チーム〇人） 閉会式	2h	9月下旬	学校行事
旅行集 団宿泊 的	2学年見学旅行	・楽しく豊かな集団行動をすることにより、人間的な触れ合いを深めるとともに、社会性や協調性、責任感、自主性を育てる。 ・自然や文化に関する既得の学習事項を直接見聞することにより、社会的視野を広め、卒業後の社会参加・自立に向けて社会体験を豊かなものとする。 ・健康・安全に留意しながら計画的な旅行を行い、学校生活の楽しい思い出を作る。	関西方面 歴史的建造物見学 座禅研修 ユニバーサルスタジ オジャパンの研修	3泊 4日	6月下旬	学校行事
儀式的	第1学期終業式	・これまでの学習や生活を省みる中から、成果・成長や問題を見だし、それを次のステップに生かそうとする心構えを培う。	校長講話 校歌	1h	7月下旬	学校行事
儀式的	第2学期始業式	・新しい学期への歩みだしの動機付けを行い、意欲を喚起するとともに、学習や生活への心構えをもつ。	校長講話 校歌	1h	8月中旬	学校行事
文化的	学校祭	・一人一人が意欲的に参加し、学校祭を楽しむ。 ・日常の学習の成果を発表し、表現する喜びを味わうとともに、相互に学びあう姿勢を身に付ける。 ・学科、学年等の集団活動を通して、仲間と協力し合う態度を身に付ける。 ・地域及び他校との交流を図り、相互理解を深める。	開会式（実行委員） 学年ステージ発表 各学科模擬店、販売会 閉会式（実行委員）	12h	11月上旬	学校行事
生徒会	生徒会役員 選挙	・生徒会四役の役割を知る。 ・新年度生徒会四役を選び投票することができる。	生徒会役員演説 選挙	2h	12月初旬	生徒会 行事
儀式的	第2学期終業式	・これまでの学習や生活を省みる中から、成果や成長、問題を見だし、それを次のステップに生かそうとする心構えを培う。	校長講話 校歌	1h	12月下旬	学校行事
儀式的	第3学期始業式	・新しい学期への歩みだしの動機付けを行い、意欲を喚起するとともに、学習や生活への心構えをもつ。	校長講話 校歌	1h	1月中旬	学校行事
儀式的	卒業式	【卒業生】 ・3年間の思い出や感謝の気持ちを胸に、学校生活最後の締めくくりとする。 ・社会人として自立することへの自覚をもち、新しい出発への動機付けとする。 【在校生】 ・先輩の卒業を心から祝福し、感謝の気持ちを表す。 ・自立に向けて新たな自覚と決意をもつ。	卒業証書授与 式辞・祝辞 送辞・答辞 合唱	2h	3月第2週 金曜日	学校行事
儀式的	修了式 離任式	・1年間の学習や生活を省みる中から成果や成長、問題を見だし、新年度への心構えを培う。	校長講話、修了証書授与、校歌	1h	3月下旬	学校行事